

国際英語学科

国 際 英 語 学 科

平成26年度入学者対象（学生番号「1014・・・」）

<卒業に必要な単位数>

科 目 区 分		単 位 数	
必 修 科 目	専門教育科目	35	35単位
選 択 必 修 科 目	専門教育科目	36	62単位以上
	共通教育科目	20	
	外国語科目	4	
	健康ｽﾍﾞｰﾙ科目	2	
選 択 科 目	専門教育科目	27単位以上	
	共通教育科目		
	「英語」以外の外国語科目		
	健康ｽﾍﾞｰﾙ科目		
	他学科開設科目		
	教職・資格関係科目		
合 計		124単位以上	

国際英語学科

国際英語学科は、教養に裏打ちされた英語力を活かして、世界とコミュニケーションできる人材の育成を目指します。国際的な視野を深めるために英語圏を中心に様々な地域の社会・文化を学び、国際社会の一員として求められる知性と人間性を身につけ、社会に貢献できる人物を育てていきます。

英語力強化プログラムの柱であるEnglish in Action では、コミュニケーション能力を総合的に育成するだけでなく、学生独自の視点によって問題を発見し、情報を収集分析し、発表する能力も養います。さらに、少人数制習熟度別授業による学習効率の向上、多くのネイティブ教員による英語環境の充実、最新コンピュータシステムによる多角的な語学学習を実施しています。本格的な海外演習制度と長期留学制度も整えています。

TOEIC・英検対策講座、教員採用試験現役合格支援、児童英語指導員養成、一般企業のニーズに応える英語教育など多岐にわたって就職活動を強力に支援します。

- (1) 基礎ゼミナールは高校教育と大学教育の橋渡しを行い、「読む」、「書く」、「発表する」ことを通して、レポートや論文の書き方のノウハウを学びます。
- (2) 1年次・2年次の必修科目は、徹底した少人数でクラス編成を行い、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの4技能の向上を目指します。
特にEIA（イングリッシュ・イン・アクション）では、従来のスピーキング科目に、各々目的を設定し、I(1)(2)のRecitation、II(1)(2)のPerformance、III(1)(2)のPublic Speakingを通して、英語の実践力の向上を計ります。
- (3) コミュニケーション基礎演習は、社会的・職業的な自主能力を養うために、自己表現能力、日本語力、文章力等の育成と強化を目指します。
- (4) 選択必修科目は、英米の文化、比較文化、比較文学、児童と文化を中心とする国際文化領域、ことばと社会、ことばと心理、ことばの運用などを中心とする言語コミュニケーション領域、及び報道、ビジネスなど、実社会で役立つ英語を学ぶスキル領域から構成されています。
1・2年次の入門科目、演習科目では、自分が興味をもつ専門分野への関心を育て、3年次のセミナー及び3・4年次の特講・演習においては、より広い知識と技術、及び学問的思考方法を学びます。
- (5) 4年次必修の卒業研究では、自分のテーマに従い論を立て、4年間の学習の成果を発表します。

○必修科目

- ① EIA I(1)(2)・II(1)(2)・III(1)(2)、リーディングI・II、ライティングI・II、リスニングI・II
原則としてI・IIの順に履修して下さい。
共通テストによりクラス分けを行います。
 - ② 英語音声学(1)
指定されたクラスで履修してください。
 - ③ 英文法I
共通テストによりクラス分けを行います。
- ※ ①～③について、やむを得ない事情で単位の修得ができなかった場合は、学年始めの所定の期間内に学科の指示を受けて、指定されたクラスで履修しなければなりません。この手続きを行わないで履修しても単位の修得は認められません。
- ④ セミナー
2年次で修得した知識・技術をさらに高めて、より高度な研究へと導くために設けられた科目です。
受講者は、予備登録の必要があります。受講者数の上限を設けます。
やむを得ない事情で単位を修得できなかった場合は、学年始めの所定の期間内に学科の指示を受け、履修しなければなりません。
 - ⑤ 卒業研究
学生は、学術研究の総まとめとして卒業研究の論文を提出し、その評価を受けなければなりません。論文を作成することによって、初めて自分の学問領域を確立し、将来の進路の基礎を決定することになります。この重要性を理解し、積極的な研究態度で指導を受け、その成果を挙げるのが望まれます。

○選択必修科目

- ① 1年次の英語音声学(2)、英文法II、イギリス文化史(1)・(2)、アメリカ文化史(1)・(2)、言語学入門(1)・(2)の8科目から4単位以上を修得しなければなりません。
また2年次では、国際文化演習(1)～(4)、言語学演習(1)～(3)、国際コミュニケーション演習(1)・(2)、インターナショナル・プログラム(1)・(2)の11科目から12単位以上を修得しなければなりません。
原則として、(1)(2)に分かれている科目は(1)(2)の順で続けて履修してください。
- ② 3年次で履修するリーディングIII、ライティングIII、EIA IV(1)・(2)（インタラクティブ）、リスニングIIIは5科目中、2科目4単位以上を修得しなければなりません。
受講希望者は、予備登録の必要があります。人数制限をする場合もあります。
やむを得ない事情で単位を修得できなかった場合は、学年始めの所定の期間内に学科の指示を受け、履修しなければなりません。

- ③ 3年次以降に国際文化特講Ⅰ～Ⅴ、言語コミュニケーション特講Ⅰ～Ⅴ、国際英語演習Ⅰ・Ⅱ、キャリア・イングリッシュⅠ・Ⅱから16単位以上を修得しなければなりません。国際文化特講の科目は(1)・(2)から構成されますが、必ずしも(1)・(2)の順で履修する必要はありません。

○選択科目

専門知識を広げるためのキリスト教と文化、海外でのインターンシップを経験できる国際英語演習Ⅲなどの選択科目があります。さらに、児童に英語を教えるための児童英語教育法、教材研究、指導実習などの科目が用意されています。これらに加えて、専門教育科目の選択必修科目、共通教育科目、「英語」以外の外国語科目、健康スポーツ科目及び他学科開設科目、教職・資格関係科目等の科目から合計27単位以上を修得しなければなりません。

※卒業必要単位数のうち、3年次終了までに、修得合計単位数が86単位に満たない者は、4年次において「卒業見込証明書」は交付されません。

専門教育科目一覧表（必修）

科目名	単位	期間	年次	教職	副専攻	他学科生への開放	備考
基礎ゼミナール	2	半期	1			×	
EIA I (1) <i>レクチャー</i>	1	半期	1	☆		×	
EIA I (2) <i>レクチャー</i>	1	半期	1	☆		×	
EIA II (1) <i>パフォーマンス</i>	1	半期	1	☆		×	
EIA II (2) <i>パフォーマンス</i>	1	半期	1	☆		×	
コミュニケーション基礎演習	1	半期	2			×	
EIA III (1) <i>パブリックスピーキング</i>	1	半期	2			×	
EIA III (2) <i>パブリックスピーキング</i>	1	半期	2			×	
リーディング I	2	通年	1			×	
リーディング II	2	通年	2			×	
ライティング I	2	通年	1	○		△	
ライティング II	2	通年	2	○		△	
リスニング I	2	通年	1	○		△	
リスニング II	2	通年	2	○		△	
英語音声学(1)	2	半期	1	○		△	
英文法 I	2	通年	1	○		△	
ゼミナール	4	通年	3			×	
卒業研究	6	通年	4			×	

専門教育科目一覧表（選択必修）

科目名	単位	期間	年次	教職	副専攻	他学科生への開放	備考
リーディング III	2	通年	3		英	○	4 単位以上
ライティング III	2	通年	3	○	英	△	
EIA IV (1) <i>インタラクション</i>	1	半期	3		英	○	
EIA IV (2) <i>インタラクション</i>	1	半期	3		英	○	
リスニング III	2	通年	3	○	英	○	
英語音声学(2)	2	半期	1~2	○		△	4 単位以上
英文法 II	2	通年	1~2	○		△	
イギリス文化史(1)	2	半期	1~2	○	地	○	
イギリス文化史(2)	2	半期	1~2	○		○	
アメリカ文化史(1)	2	半期	1~2	○	地	○	
アメリカ文化史(2)	2	半期	1~2	○		○	
言語学入門(1)	2	半期	1~2	○	日・女社・地	○	
言語学入門(2)	2	半期	1~2	○	日・女社・地	○	
国際文化演習(1) <i>イギリス文化論</i>	2	半期	2	○		△	
国際文化演習(2) <i>アメリカ文化論</i>	2	半期	2	○		△	
国際文化演習(3) <i>オセアニア文化論</i>	2	半期	2			×	
国際文化演習(4) <i>ヨーロッパ文化論</i>	2	半期	2			×	
言語学演習(1) <i>英語と歴史</i>	2	半期	2	○		△	12 単位以上
言語学演習(2) <i>英語の構造</i>	2	半期	2	○		△	
言語学演習(3) <i>英語の意味と機能</i>	2	半期	2	○		△	
国際コミュニケーション演習(1) <i>異文化への視点</i>	2	半期	2	○		△	
国際コミュニケーション演習(2) <i>国際情勢を知る</i>	2	半期	2			×	
インターナショナル・プログラム(1) <i>留学準備</i>	2	半期	1~2	○		△	
インターナショナル・プログラム(2) <i>留学準備</i>	2	半期	2~3	○		△	
国際文化特講 I (1) <i>イギリスと文化</i>	2	半期	3~4	○	英・地	○	
国際文化特講 I (2) <i>イギリスと文化</i>	2	半期	3~4	○	英・女社	○	
国際文化特講 II (1) <i>アメリカと文化</i>	2	半期	3~4	○	英・女社・芸・地	○	
国際文化特講 II (2) <i>アメリカと文化</i>	2	半期	3~4	○	英	○	
国際文化特講 III (1) <i>児童と文化</i>	2	半期	3~4		英・地	○	16 単位以上
国際文化特講 III (2) <i>児童と文化</i>	2	半期	3~4		英	○	

国際文化特講Ⅳ(1)	比較文化論 (オセアニアとアジア)	2	半期	3～4	○	英・女社・地	○
国際文化特講Ⅳ(2)	比較文化論(アフリカ)	2	半期	3～4	○	英・女社・地	○
国際文化特講Ⅴ(1)	ヨーロッパと文化	2	半期	3～4	○	英・女社・地	○
国際文化特講Ⅴ(2)	ヨーロッパと文化	2	半期	3～4	○	英・女社	○
言語コミュニケーション特講Ⅰ	ことばと社会	2	半期	3～4	○	英	○
言語コミュニケーション特講Ⅱ	ことばと心理	2	半期	3～4	○	英	○
言語コミュニケーション特講Ⅲ	ことばの歴史	2	半期	3～4		英	○
言語コミュニケーション特講Ⅳ	ことばとコミュニケーション	2	半期	3～4	○	英	○
言語コミュニケーション特講Ⅴ	ことばとパフォーマンス	2	半期	3～4		英	○
国際英語演習Ⅰ	報道英語	2	半期	3～4		英	○
国際英語演習Ⅱ	ビジネスコミュニケーション	2	半期	3～4	○	英	○
キャリア・イングリッシュⅠ		2	半期	3～4	○		△
キャリア・イングリッシュⅡ		2	半期	3～4	○		△

専門教育科目一覧表（選択）

科目名	単位	期間	年次	教職	副専攻	他学科生への開放	備考
国際英語演習Ⅲ 海外演習	2	後・前	2～4	○	英・日・地	○	他777研修・集中
キリスト教と文化(1)	2	半期	1～4	○	地	○	
キリスト教と文化(2)	2	半期	1～4	○		○	
児童英語教育法	2	半期	2～3			△	
児童英語教材研究	2	半期	2～3			△	
児童英語指導実習	2	半期	3			△	

注) 選択科目は、専門教育科目の選択必修科目及び選択科目、共通教育科目、「英語」以外の外国語科目、健康スポーツ科目、他学科開設科目、教職・資格関係科目等から27単位以上修得しなければなりません。

<教職欄の見方>

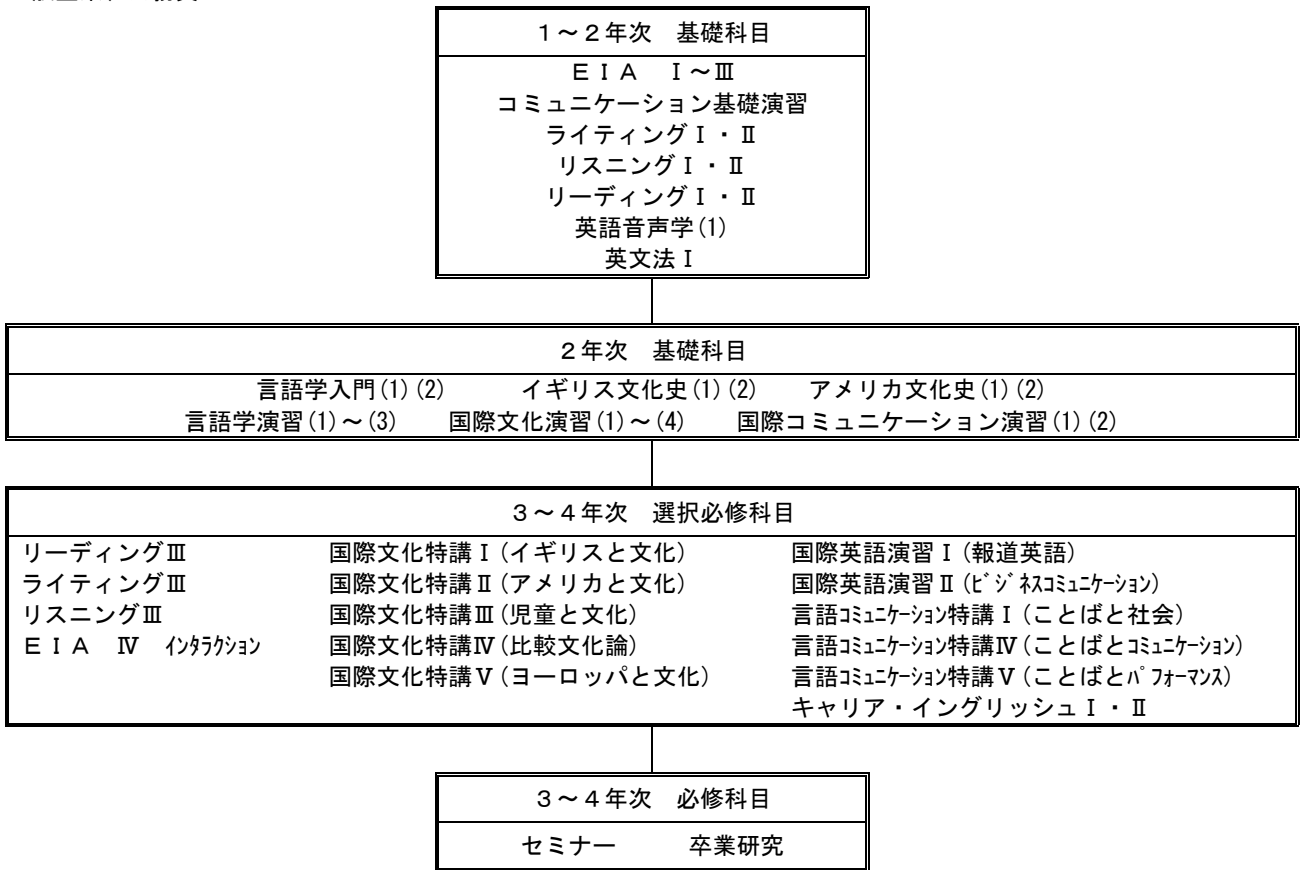
☆：基礎資格に関する科目、○：「英語」の教科に関する科目

<副専攻欄の見方>

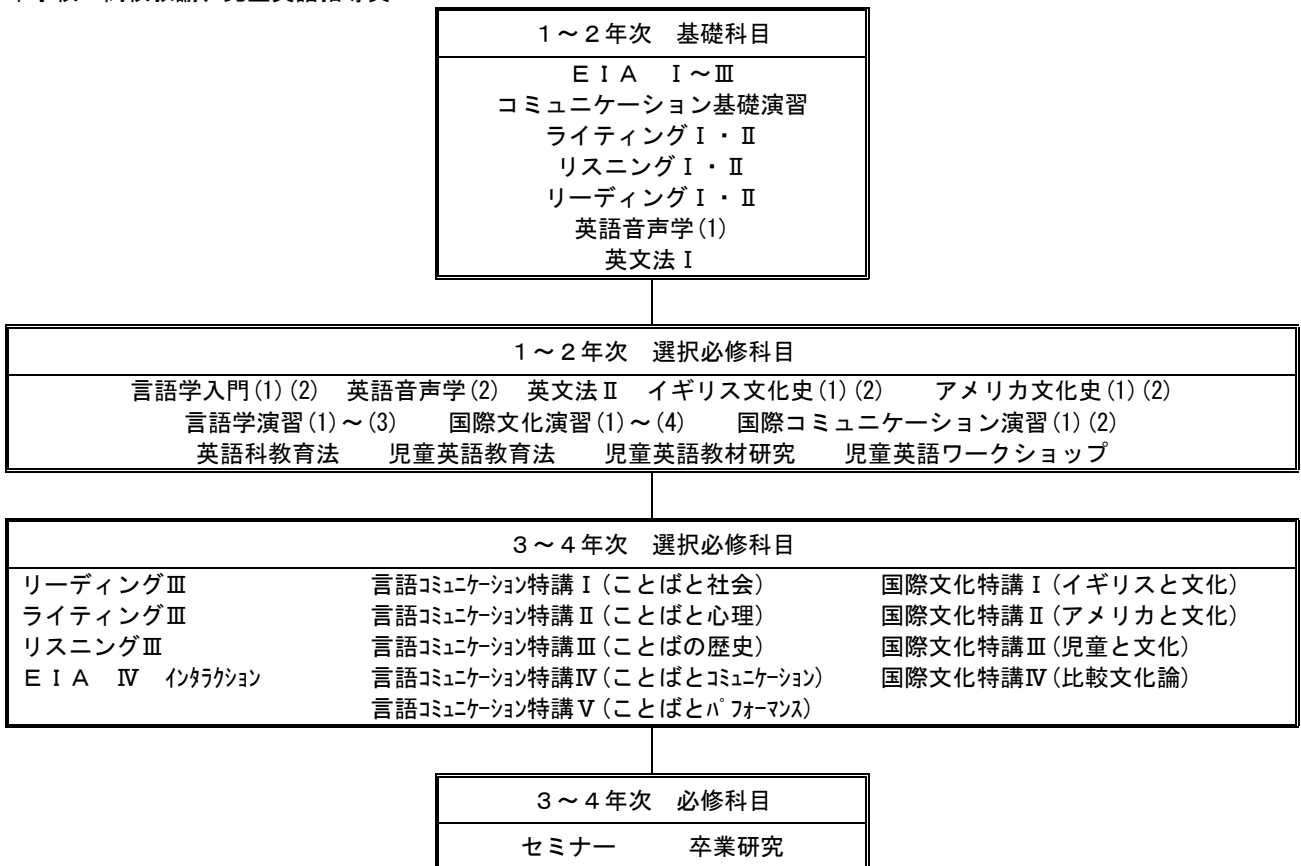
英：英語コース、日：日本語教員養成コース、女社：女性・社会コース、生健：生命・健康コース、芸：芸術コース、地：地域研究コースに関する科目

国際英語学科カリキュラムチャート

一般企業、公務員



中学校・高校教諭、児童英語指導員



キャビン・アテンダント、ホテル関係、通訳、国際関係

1～2年次 基礎科目
E I A I～Ⅲ コミュニケーション基礎演習 ライティング I・II リスニング I・II リーディング I・II 英語音声学(1) 英文法 I

1～2年次 選択必修科目
言語学入門(1)(2) イギリス文化史(1)(2) アメリカ文化史(1)(2) 英語音声学(2) 英文法 II 言語学演習(1)～(3) 国際文化演習(1)～(4) 国際コミュニケーション演習(1)(2)

3～4年次 選択必修科目															
<table border="0"> <tr> <td>リーディングⅢ</td> <td>国際文化特講Ⅰ(イギリスと文化)</td> <td>国際英語演習Ⅰ(報道英語)</td> </tr> <tr> <td>ライティングⅢ</td> <td>国際文化特講Ⅱ(アメリカと文化)</td> <td>国際英語演習Ⅱ(ビジネスコミュニケーション)</td> </tr> <tr> <td>リスニングⅢ</td> <td>国際文化特講Ⅲ(児童と文化)</td> <td>言語コミュニケーション特講Ⅰ(ことばと社会)</td> </tr> <tr> <td>E I A IV インタラクション</td> <td>国際文化特講Ⅳ(比較文化論)</td> <td>言語コミュニケーション特講Ⅳ(ことばとコミュニケーション)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>国際文化特講Ⅴ(ヨーロッパと文化)</td> <td>キャリア・イングリッシュⅠ・Ⅱ</td> </tr> </table>	リーディングⅢ	国際文化特講Ⅰ(イギリスと文化)	国際英語演習Ⅰ(報道英語)	ライティングⅢ	国際文化特講Ⅱ(アメリカと文化)	国際英語演習Ⅱ(ビジネスコミュニケーション)	リスニングⅢ	国際文化特講Ⅲ(児童と文化)	言語コミュニケーション特講Ⅰ(ことばと社会)	E I A IV インタラクション	国際文化特講Ⅳ(比較文化論)	言語コミュニケーション特講Ⅳ(ことばとコミュニケーション)		国際文化特講Ⅴ(ヨーロッパと文化)	キャリア・イングリッシュⅠ・Ⅱ
リーディングⅢ	国際文化特講Ⅰ(イギリスと文化)	国際英語演習Ⅰ(報道英語)													
ライティングⅢ	国際文化特講Ⅱ(アメリカと文化)	国際英語演習Ⅱ(ビジネスコミュニケーション)													
リスニングⅢ	国際文化特講Ⅲ(児童と文化)	言語コミュニケーション特講Ⅰ(ことばと社会)													
E I A IV インタラクション	国際文化特講Ⅳ(比較文化論)	言語コミュニケーション特講Ⅳ(ことばとコミュニケーション)													
	国際文化特講Ⅴ(ヨーロッパと文化)	キャリア・イングリッシュⅠ・Ⅱ													

3～4年次 必修科目
セミナー 卒業研究

大学院・留学

1～2年次 基礎科目
E I A I～Ⅲ コミュニケーション基礎演習 ライティング I・II リスニング I・II リーディング I・II 英語音声学(1) 英文法 I

1～2年次 選択必修科目
言語学入門(1)(2) イギリス文化史(1)(2) アメリカ文化史(1)(2) 英語音声学(2) 英文法 II 言語学演習(1)～(3) 国際文化演習(1)～(4) 国際コミュニケーション演習(1)(2) インターナショナル・プログラム(1)(2)

3～4年次 選択必修科目																		
<table border="0"> <tr> <td>リーディングⅢ</td> <td>国際文化特講Ⅰ(イギリスと文化)</td> <td>言語コミュニケーション特講Ⅰ(ことばと社会)</td> </tr> <tr> <td>ライティングⅢ</td> <td>国際文化特講Ⅱ(アメリカと文化)</td> <td>言語コミュニケーション特講Ⅱ(ことばと心理)</td> </tr> <tr> <td>リスニングⅢ</td> <td>国際文化特講Ⅲ(児童と文化)</td> <td>言語コミュニケーション特講Ⅲ(ことばの歴史)</td> </tr> <tr> <td>E I A IV インタラクション</td> <td>国際文化特講Ⅳ(比較文化論)</td> <td>言語コミュニケーション特講Ⅳ(ことばとコミュニケーション)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>国際文化特講Ⅴ(ヨーロッパと文化)</td> <td>国際英語演習Ⅰ(報道英語)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>国際英語演習Ⅱ(ビジネスコミュニケーション)</td> </tr> </table>	リーディングⅢ	国際文化特講Ⅰ(イギリスと文化)	言語コミュニケーション特講Ⅰ(ことばと社会)	ライティングⅢ	国際文化特講Ⅱ(アメリカと文化)	言語コミュニケーション特講Ⅱ(ことばと心理)	リスニングⅢ	国際文化特講Ⅲ(児童と文化)	言語コミュニケーション特講Ⅲ(ことばの歴史)	E I A IV インタラクション	国際文化特講Ⅳ(比較文化論)	言語コミュニケーション特講Ⅳ(ことばとコミュニケーション)		国際文化特講Ⅴ(ヨーロッパと文化)	国際英語演習Ⅰ(報道英語)			国際英語演習Ⅱ(ビジネスコミュニケーション)
リーディングⅢ	国際文化特講Ⅰ(イギリスと文化)	言語コミュニケーション特講Ⅰ(ことばと社会)																
ライティングⅢ	国際文化特講Ⅱ(アメリカと文化)	言語コミュニケーション特講Ⅱ(ことばと心理)																
リスニングⅢ	国際文化特講Ⅲ(児童と文化)	言語コミュニケーション特講Ⅲ(ことばの歴史)																
E I A IV インタラクション	国際文化特講Ⅳ(比較文化論)	言語コミュニケーション特講Ⅳ(ことばとコミュニケーション)																
	国際文化特講Ⅴ(ヨーロッパと文化)	国際英語演習Ⅰ(報道英語)																
		国際英語演習Ⅱ(ビジネスコミュニケーション)																

3～4年次 必修科目
セミナー 卒業研究

国際英語学科 履修モデル

この履修モデルは国際英語学科の専門教育科目、共通教育科目、外国語科目、健康スポーツ科目、他学科開設科目などの中から、各自の関心や学びたい対象にあわせ、また将来の職業選択や資格取得の上で関連の深い授業科目を集めたものです。

学生の皆さんの科目選択の手がかりになるように考えてありますが、各自の科目選択の範囲や方法を制限するものではありません。また、いくつもの履修モデルにまたがって履修していくことももちろん可能です。

<イギリス文学・文化を学びたい人のために>

イギリス文化史(1)(2)
国際文化演習(1) イギリス文化論
国際文化演習(2) アメリカ文化論
国際文化演習(3) オセアニア・アジア文化論
国際文化特講Ⅰ(1)(2) イギリスと文化
国際文化特講Ⅲ(1)(2) 児童と文化
国際文化特講Ⅳ(1)(2) 比較文化論(オセアニア・アジア、アフリカ)
国際文化特講Ⅴ(1)(2) ヨーロッパと文化
国際英語演習Ⅰ 報道英語
国際英語演習Ⅱ ビジネス・コミュニケーション
国際英語演習Ⅲ 海外演習
キリスト教と文化(1)(2)
文化と女性(1)(2)
女性学(1)(2)
文化人類学
西洋美術史
哲学概論(1)(2)
英語で読む文化と社会(1)(2)
ドイツ語で読む文化と社会(1)(2)
フランス語で読む文化と社会(1)(2)
スペイン語で読む文化と社会(1)(2)

<アメリカ文学・文化を学びたい人のために>

アメリカ文化史(1)(2)
国際文化演習(1) イギリス文化論
国際文化演習(2) アメリカ文化論
国際文化特講Ⅱ(1)(2) アメリカと文化
国際文化特講Ⅳ(1)(2) 比較文化論(オセアニア・アジア、アフリカ)
国際文化特講Ⅴ(1)(2) ヨーロッパと文化
国際英語演習Ⅱ ビジネス・コミュニケーション
国際英語演習Ⅲ 海外演習
キリスト教と文化(1)(2)
文化と女性(1)(2)
文化人類学
哲学概論(1)(2)
女性学(1)(2)
英語で読む文化と社会(1)(2)

<フランス文学・文化を学びたい人のために>

基礎フランス語
フランス語会話(1)(2)
文化と女性(1)(2)
国際文化演習(4) ヨーロッパ文化論
国際文化特講Ⅳ(1)(2) 比較文化論(オセアニア・アジア、アフリカ)
国際文化特講Ⅴ(1)(2) ヨーロッパと文化
キリスト教と文化(1)(2)
女性学(1)(2)
文化人類学
西洋美術史
哲学概論(1)(2)
英語で読む文化と社会(1)(2)
ドイツ語で読む文化と社会(1)(2)
フランス語で読む文化と社会(1)(2)
スペイン語で読む文化と社会(1)(2)

<言語学・英語学を学びたい人のために>

言語学入門(1)(2)
国際文化特講Ⅴ(1)(2) 比較文化論
言語学演習(1) 英語の歴史
言語学演習(2) 英語の構造
言語学演習(3) 英語の意味機能
国際文化特講Ⅳ(1)(2) 比較文化論(オセアニア・アジア、アフリカ)
言語コミュニケーション特講Ⅰ ことばと社会
言語コミュニケーション特講Ⅱ ことばと心理
言語コミュニケーション特講Ⅲ ことばの歴史
言語コミュニケーション特講Ⅳ ことばとコミュニケーション
国際英語演習Ⅰ 報道英語
国際英語演習Ⅱ ビジネス・コミュニケーション
キャリア・イングリッシュⅠ・Ⅱ
国際英語演習Ⅲ 海外演習
文化人類学
比較言語学(1)(2)

<異文化交流に必要な語学力と
情報処理能力をつけたい人のために>

イギリス文化史(1)(2)
アメリカ文化史(1)(2)
言語学入門(1)(2)
国際コミュニケーション演習(1) 異文化への視点
国際コミュニケーション演習(2) 国際情勢を知る
インターナショナル・プログラム(1)(2)
国際文化特講Ⅳ(1)(2) 比較文化論(オセアニア・アジア、アフリカ)
国際英語演習Ⅰ 報道英語
国際英語演習Ⅱ ビジネス・コミュニケーション
キャリア・イングリッシュⅠ
キャリア・イングリッシュⅡ
国際英語演習Ⅲ 海外演習
情報処理(1)(2)
キリスト教と文化(1)(2)
経済学概論(1)(2)
政治学概論(1)(2)
哲学概論(1)(2)
宗教学概論

<国際地域研究に関心があり、
国際交流に貢献したい人のために>

イギリス文化史(1)(2)
アメリカ文化史(1)(2)
インターナショナル・プログラム(1)(2)
国際文化特講Ⅰ(1)(2) イギリスと文化
国際文化特講Ⅱ(1)(2) アメリカと文化
国際文化特講Ⅳ(1)(2) 比較文化論(オセアニア・アジア、アフリカ)
英語で読む文化と社会(1)(2)
ドイツ語で読む文化と社会(1)(2)
フランス語で読む文化と社会(1)(2)
スペイン語で読む文化と社会(1)(2)
キャリア・イングリッシュⅠ
キャリア・イングリッシュⅡ
国際英語演習Ⅲ 海外演習
経済学概論(1)(2)
キリスト教と文化(1)(2)
地理学概論(1)(2)

<教育機関・文化施設で活躍したい人のために>
(中学・高校教員・児童英語指導員・日本語教員)

英語科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
★日本語教授法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
児童英語教育法
児童英語教材研究
児童英語ワークショップ(1)(2)
児童英語指導実習
★児童心理学
★発達心理学概論
国際文化特講Ⅲ(1)(2) 児童と文化
国際英語演習Ⅲ 海外演習

★は履修可能な他学科開設科目

児童英語指導員養成コース

こどもに英語を教える人材を育てるコースです。教職課程とは異なります。
所定の科目を20単位以上修得した者には、本学の「児童英語指導員養成コース修了証」が与えられます。
但し、児童英語指導実習を受けるためには、次の要件を充たす必要があります。

- (1) 「児童英語教育法」、「児童英語教材研究」を履修済みのこと。
- (2) 英検2級、TOEIC600点以上、またはそれに相当する英語の力をもつ者、もしくは教職課程（英語）の履修者で、児童英語指導実習に適すると判断された者。

必修科目（16単位）

科目名	単位	年次	開設学科等
英語音声学(1)	2	1	国際英語学科 専門教育科目
英語音声学(2)	2	1～2	国際英語学科 専門教育科目
英文法Ⅰ	2	1	国際英語学科 専門教育科目
英文法Ⅱ	2	1～2	国際英語学科 専門教育科目
児童英語教育法	2	2～3	国際英語学科 専門教育科目
児童英語教材研究	2	2～3	国際英語学科 専門教育科目
児童英語ワークショップ(1)	1	1～4	共通教育(外国語)科目
児童英語ワークショップ(2)	1	1～4	共通教育(外国語)科目
児童英語指導実習	2	3	国際英語学科 専門教育科目

選択科目（4単位以上）

科目名	単位	年次	開設学科等
児童心理学	4	2～4	心理学科 専門教育科目
発達心理学概論	4	2～4	心理学科 専門教育科目
国際文化特講Ⅲ(1) <i>児童と文化</i>	2	3～4	国際英語学科 専門教育科目
国際文化特講Ⅲ(2) <i>児童と文化</i>	2	3～4	国際英語学科 専門教育科目
言語コミュニケーション特講Ⅱ <i>ことばと心理</i>	2	3～4	国際英語学科 専門教育科目
言語コミュニケーション特講Ⅳ <i>ことばとコミュニケーション</i>	2	3～4	国際英語学科 専門教育科目
言語コミュニケーション特講Ⅴ <i>ことばとパフォーマンス</i>	2	3～4	国際英語学科 専門教育科目
国際英語演習Ⅲ <i>海外演習</i>	2	2～4	国際英語学科 専門教育科目